

出石の歴史

歴史を紐解く鍵がある

神話の時代から

出石は『古事記』『日本書紀』にも登場する古い町です。但馬開発の祖神「天日槍」がこの地を拓いたと伝えられています。



天日槍
伝説

瀬戸の岩引の図



山名一族の本拠

室町時代には、山名時氏が但馬を制圧、その子時義が此隅山に本城を構えたことにより、出石は但馬の中心として繁栄しました。その後、時義の孫、宗全(持豊)は応仁の乱を引き起こし、西軍の大將となりました。しかし、戦国時代に入り、織田軍に攻められ此隅山城は落城、その後、有子山に城を移しましたが再び攻められ有子山城も落城しました。

【重要伝統的建造物群保存地区】

城下町の往時を伝える町並み



禅僧



沢庵眠る

山名宗全出兵



有子山城からの眺め

応仁の乱

但馬の雄藩

その後、小出氏が領主となり山麓に平山城を築城、周囲に城下町が形成されました。元禄10年(1697)松平氏が移封されましたが宝永3年(1706)に信州上田の仙石氏とお国替えになりました。途中、仙石騒動により減封されたものの、仙石氏は七代に渡り出石藩を治め、明治に至りました。



桂小五郎
潜む

城下栄える
五万八千石

仙石騒動
起こる

三大家騒動の一つ

事件の発端は2人の家老、仙石左京(改革派)と仙石造酒(保守派)の勢力争いでした。お家乗っ取りの疑いで幕府の裁きを受け、出石藩は五万八千石から三万石に減封されました。

出石皿そば

挽きたて、打ちたて、茹がきたて
伝統の「三たて」製法

三百年の伝統

宝永3年(1706)に出石城主の松平氏と信州上田城主の仙石氏がお国替えとなりました。その際、仙石氏と供に信州から来たそば職人の技法が在来のそば打ちの技術に加えられ出石そばが誕生しました。その後、出石焼が始まり白地の小皿に盛る形式が確立されました。今では、約50軒ものそば屋が並ぶ関西屈指のそば処として知られています。



地域団体商標取得

多彩な薬味も出石皿そばの特徴です。わさび・ねぎはもちろん、多くのお店で卵・山芋等も定番の薬味としてそろえられています。

【出石そば屋一覧】

<http://www.izushi.co.jp/sobamap/>

そば打ち体験

そば打ちのプロが親切に教えてくれます。ぜひチャレンジしてみてください。自分で打ったそばは格別です。

【そば打ち体験ができるお店】

<http://www.izushi.co.jp/experiences01/>



皿そば巡り巾着セット 1セット 1,680円(税込)

<永楽通宝3枚入り> 出石ちりめん(正絹)製の上質な巾着入り

永楽通宝1枚で、皿そば3枚がお召し上がり頂けます。但し3枚の硬貨はそれぞれ別のお店でご利用ください。



【お問い合わせ】

出石観光センター TEL.0796-52-4960

出石のスポット

出石城下10スポットをめぐる

map <http://izushi.co.jp/map/>

出石城 いずしじょう



1 出石城跡

石段を登り、朱の鳥居をくぐって稲荷神社から城下を見下ろせば、まるで江戸時代を思わせる城下町ならではの町並みが広がります。昭和43年本丸跡に隅櫓が復元され、その後登城門や登城橋が建設されました。

魚屋 うおや



5 酒蔵(出石酒蔵)

赤い土壁が歳月を経て、まるで人の表情のような豊かな味わいを見せてくれます。現在も地酒「楽々鶴」を販売しています。

魚屋 うおや



6 出石明治館

郡役所として明治20年に建造された木造擬洋風建築の貴重な建物です。桜井勉をはじめ、出石の偉人展を常設しています。

内町 うちまち



8 しんころう辰鼓楼

辰鼓楼は、明治4年(1871)旧三の丸大手門脇の櫓台に建設されました。明治14年に医師、池口忠恕氏が大時計を寄贈してからは、時計台として親しまれ、今では3代目の時計が時を刻み続けています。

【時間】9:30~17:00(最終入館16:30) 【料金】大人100円 小・中学生無料 【休日】月曜日、年末年始、展示替期間中

内町 うちまち



9 出石家老屋敷

出石城内にあった江戸後期の上級武士(家老級)の居宅です。仙石騒動の中心人物、仙石左京の屋敷があった場所です。

内町 うちまち



11 伊藤清永美術館

出石出身の伊藤清永画伯の少年期から晩年までの絵画や愛用の画材を展示しています。

【時間】9:30~17:00(最終入館16:30) 【料金】大人100円 高・大学生80円 小・中学生無料 【休日】11/3、12/31、1/1、展示替期間中

【時間】9:30~17:00(最終入館16:30) 【料金】大人500円 高・大学生300円 小・中学生無料 【休日】水曜日、年末年始、展示替期間中

宵田 よいだ



13 出石史料館

明治時代に生糸を商った豪商の旧邸です。昭和52年から史料館として出石藩ゆかりの史料を中心に展示しています。

宵田 よいだ



14 桂小五郎潜居跡 廣江屋跡(荒物屋)

桂小五郎が出石に潜み、営んでいたといわれる廣江屋跡に、現在は記念碑が残されています。廣江屋跡の他にも潜居跡に小さな碑が残っています。

【時間】9:30~17:00(最終入館16:30) 【料金】大人200円 高・大学生120円 小・中学生無料 【休日】火曜日、年末年始、展示替期間中

柳 やなぎ



15 出石永楽館

出石永楽館は、明治34年に開館した近畿最古の芝居小屋です。平成20年に44年の時を経て蘇りました。歌舞伎など、興行の無い日は一般公開しています。廻り舞台・奈落など舞台裏も見学できます。

東條 とうじょう



24 すきょうじ宗鏡寺

元和2年(1616)に沢庵和尚が再興したことから沢庵寺とも呼ばれ、代々出石城主の菩提寺として崇拝を受けました。境内には沢庵作の庭園があります。

【時間】9:30~17:00(最終入館16:30) 【料金】大人300円 学生200円 小・中学生以下無料 【休日】第2・第4木曜日、木12/31、1/1

【拝観時間】9:00~16:00 【料金】個人300円 【休日】12/31、1/1、1/2



出石MAP

重要伝統的建造物群保存地区